

<2020年度 募集要項>

▼2020年4月開校
(4月以降も入学できます)

▼学習期間の目安
基礎理論コース 9ヵ月間
入門コース 6ヵ月間
憲法コース 6ヵ月間

▼受講料
基礎理論 15,000円
入門 8,000円
憲法 10,000円

▼テストの回数
基礎理論 3回
入門 2回
憲法 2回

▼通信の発行回数
基礎理論 4回
入門 2回
憲法 2回

※すいせんチューター制度の活用を
職場・地域の集団学習(学習会)は受講生の励みとなり、内容の理解をすすめ学習を継続して、修了への力になります。勤通大では集団学習を重視し、「すいせんチューター制度」を設けていますのでご活用ください。詳細はお尋ねください。

申込方法：下記に記入し、勤労者通信大学または、都道府県学習組織にお申し込みください。

2020年 勤労者通信大学 受講申込書 申込日 年 月 日

希望コース(○をつけてください) 1 基礎理論コース 2 入門コース 3 憲法コース

フリガナ				職場名	
氏名	<input type="checkbox"/> 新入学 <input type="checkbox"/> 再入学 ※コース問わず				
性別	男	女	年齢	歳	職場電話
勤通大名による発送で差しつかえのある方は、右に○を []					
自宅(携帯)電話			都道府県名		
E-mail					
教材送付先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> 労働組合 〒			所属の組織名	
	都道府県			役職名	
事務局記入欄					

『学習の友』を購読していますか。
○している ○していない ○申し込む
全労連わくわく講座を受講しましたか。
○しました ○している ○していない

事務局記入欄				
取扱	請求	入金	請求	財政部

事務局記入欄		
K S	N S	
C S		

お申込みは、個人受講の方は左の申込書に記入の上、①FAX、郵便などでお送りください。
入金方法をお知らせいたします。②または現金書留で申込書と受講料をお送りください。
③集団受講についてはお問い合わせください。

早期(2月29日まで)申込みの方に特典本をプレゼント

- ▽基礎理論コース
牧野広義著『世界は変えられるーマルクスの哲学への案内』
- ▽入門コース
浜林正夫著『学習入門 社会を科学する』
- ▽憲法コース
富田宏治著『人間の尊厳を築く反核運動』 学習の友社刊

学習をサポートするシステム

- 理解を助ける「通信」
テキストによる学習を補助するもので、補講や情勢解説、受講生同士の交流のページもあります。
- 理解を確認するテスト
勤通大のテストは、点数や順位などではなく、受講生の確実な理解をすすめることに目的を置いています。
- 親切な添削
「間違いから学ぶことができる」の立場で、ていねいなテストの添削と指導を行っています。
- 質問回答制度
疑問や質問などがある方は、小さなことでも構いませんので、付属のハガキやメールで気軽に質問を寄せて下さい。
- 学習会の相談
勤通大は集団学習(学習会)を重視しています。学習会の持ち方や講師・チューターの相談は気軽にお寄せください。

※教材の発送は2020年3月上旬より開始します。

基礎理論コースが全面リニューアル

勤労者通信大学

2020年度入学案内

2020年4月開校

知ることって、いいね!



開校
コース

未来への道すじをつかもう! 2010年以来の全面改訂

新基礎理論コース 受講料 15,000円

社会は変わる、私たちが変える!
入門コース 受講料 8,000円

権利を学んで平和に生きる!
憲法コース 受講料 10,000円

申込先 勤労者通信大学
主催 労働者教育協会

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4
TEL 03-5842-5644 FAX 03-5842-5645
メール kin@gakusyu.gr.jp

取扱団体

ホームページ、ブログは「労働者教育協会」で検索!

未来への道すじをつかもう！

基礎理論 コース

受講料 15,000円

2020年度、基礎理論コースはテキストを全面的に2年ぶりに改訂して開校します。科学的社会主義の基礎理論を体系的に学ぶために、これまでの哲学・経済学・階級闘争論という3部構成を引き継ぎながら、6章だてから9章だてへと本文を大幅に増量しました。哲学は、人間論からはじめて、史的唯物論を現実の問題から論じ、未来社会への展望を示します。経済学は、AIやIoTなど現代社会の最新の課題を取り上げながら、資本主義のしくみや矛盾について解明しています。階級闘争論では、人類の危機や新自由主義の問題を重視しながら、現代の階級闘争の特質をまとめ、日本社会の変革の見通しを明らかにします。特に未来社会論を重視した内容になっています。

目次 <予定>

第1部 ものの見方・考え方

第1章 人間という存在

- 1 自然的存在としての人間
- 2 社会的存在・精神的存在としての人間
- 3 社会の歴史的発展と人間

第2章 ものの見方・考え方—唯物論と弁証法

- 1 唯物論を学ぶ
- 2 弁証法を学ぶ
- 3 認識・実践・価値

第3章 人間の社会とその歴史

- 1 人間は社会のなかで生活する
- 2 社会のしくみの唯物論的把握
- 3 人間社会の歴史的発展

第2部 資本主義経済と暮らし

第4章 資本主義経済のしくみ

- 1 資本主義とはどういう社会か
- 2 商品とは何か—資本主義経済の解明の出発点
- 3 資本主義社会と労働者・賃金

第5章 資本主義と搾取のしくみ、資本蓄積と矛盾

- 1 搾取のしくみ
- 2 労働者の増大と搾取のしくみ
- 3 資本蓄積と貧困化、恐慌

第6章 現代の資本主義

- 1 独占段階の資本主義
- 2 生産力の発展、グローバル化、金融肥大化
- 3 グローバル化のもとでの構造変革
- 4 新たな経済社会への展望

第3部 たたかいと社会進歩

第7章 現代社会と社会変革

- 1 現代とはどのような時代か
- 2 現代国家の特徴と現代の民主主義
- 3 現代の社会変革と労働者・国民のたたかい

第8章 日本社会の変革をめざして

- 1 日本国憲法とは何か
- 2 戦後日本社会の支配のしくみ
- 3 日本社会の民主的変革

第9章 未来社会を考える

- 1 未来社会と今日の資本主義社会との関連
- 2 社会主義的変革の中心は生産手段の社会化
- 3 未来社会への道すじ

ともに学んで人間らしい生き方を

勤労者通信大学学長 山田敬男

私たちが学ぶのは、ものの見方・考え方、社会や経済のしくみなどを明らかにする科学です。「自己責任論」「弱肉強食」がまん延する資本主義社会のなかに生きながら、隣人と手をたずさえて未来を切り拓くには、人類社会にはさまざまな偶然性や可能性をつらぬく発展法則があることをつかむ体系的な学習が必要です。特に2020年度は、テキストを全面改訂した新・基礎理論コースを開校します。この間の科学的社会主義の理論的発展をふまえたテキストとなっています。人間論から始まり、資本主義社会のしくみと矛盾を現代的課題をふまえて解明し、未来社会への展望を示すものとなっています。学ぶこと知ること、これから生き、たたかい、働き、くらししていくなかで、困難に直面したときに力を発揮するものと信じています。知は力です。ぜひ、ごいっしょに勤労者通信大学で学びましょう。

社会は変わる、私たちが変える！

入門 コース

受講料 8,000円

仕事で理不尽な目にあっても泣寝入り／将来が不安だけど見通しがたたない／日々のくらしに精いっぱい政治に目をむける余裕などない……。そうした生きづらさの原因は何なのか、あきらめるしかないのか……。『生き方と社会』について考えてみませんか。人間の社会にも法則があることを知り、権利やたたかいの歴史にふれて、「誰もが人間らしく生きられる社会」をつくる手立てをつかみましょう。社会は変えられます。

目次

- はじめに とびらをひらく
- 第1章 生活のゆとりと人間らしさ
- 第2章 資本主義社会で生きている
- 第3章 社会は進歩・発展する
- 第4章 民主主義ってなんだ！
- 第5章 私たちが未来を決める

権利を学んで平和に生きる！

憲法 コース

受講料 10,000円

何よりもまず安倍9条改憲を許さないたたかひをひろげるために、立憲主義を回復して戦争法の廃止をめざすことの意義をつかみま。同時に人権、平和、民主主義といった日本国憲法の柱、とくに「武力なき平和」をかがけ全世界に不戦を誓った9条の魅力を豊かに学びます。そして日本社会のゆがみの大もとにある、憲法と日米安保体制の矛盾について深めます。

目次

- はじめに そもそも憲法とは何か
- 第1章 日本国憲法には人類の宝がいっぱい
- 第2章 日本国憲法と日米安保体制のせめぎ合い
- 第3章 働くルール・社会保障と日本国憲法
- 第4章 国民主権—議会制民主主義、参政権、司法
- 第5章 地方自治・教育と日本国憲法
- 第6章 両性の平等と日本国憲法
- おわりに 改憲に反撃し、憲法を活かそう！

会議前の30分の読み合わせ学習。報告と討論には短い時間だが、レジュメづくりが学びになったので、今度はみんな順番に、報告者として準備することに。



受講生のこえ

学習会を開き、普段なにげなく耳に入ってくる言葉の意味やしくみを知ることができ、聞きなれない言葉や制度も知ることができました。そこから安倍政権がどうやって憲法を変えようとしているか気づき、憲法を守る運動でも、自分の言葉として訴える力になりました。



電話やメールで学習支援。「世の中おかしいんじゃないか」という思いが、学ぶことで「やっぱりそうだったのか」と確信になり、学べて嬉しい、楽しいの声も聞けるようになりました。

